"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyocho Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

２０２１年７月 ～ ２０２２年６月

国際会長主題　「世界とともにワイズメン」
アジア会長主題　「100年を超えて変革しよう」
東日本区理事主題　「私たちは次の世代のために何ができるか？」
東新部部長主題　「何が問題か、どうしたら良いか、道は一つではない」

会　長	土井　宏二
副 会 長	―
直前会長	今井　武彦

書　記	今井　武彦
会　計	髙津　達夫
担当主事	由井　卓哉

２０２２年４月本例会（722回）

（ 強調月間：ＵＮ Project ＲＢＭ ）

今　月　の　聖　句

太陽の下に不幸があるのを私は見た。
それは権力ある者が引き起こす過ち。
（コヘレトの言葉 10-5）

There is an evil that have seen under the sun,
As great an error as if it proceeded from the ruler.

４　月　本　例　会

日 時　2022年４月19日（火） 18：00～20：00
場 所　東京ＹＭＣＡ東陽町センター・YMCAホール
会 費　１．５００円
＊欠席する方は4/15までに高津会計に連絡願います。

４月 ＵＮ Project ＲＢＭ について

RBMは、Roll Back Malaria（ロールバックマラリア）の略称。1988年UNDP国連機関等の国際機関が中心になって始めた世界的規模のマラリア撲滅のキャンペーン。国連機関と提携・協働して、マラリア終結のための資金作りの取り組み。資金から蚊帳の支給活動。　（髙津 記）

HAPPY BIRTHDAY

該当者なし

結婚記念日おめでとう

29日　櫻井浩行・啓子

シニアY･Y･Yキャンプの中止！！

5月開催予定だったキャンプを秋に延期！！

秋の山中湖でお会いしましょう！！

４月　本例会プログラム

受 付	髙津　達夫
司 会	今井　武彦
開会点鐘　会 長	土井　宏二
ワイズソング	一　同
ゲスト・ビジター紹介	司　会
今月の聖句・感謝	神保伊和雄
楽しい食事	
卓 話　「2022年度 YMCA方針について」	
東京YMCA副総主事	星野　太郎
退任挨拶	山梨　雄一
強調月間アッピール	髙津　達夫
ハッピーバースデー・結婚記念日	司　会
スマイル・諸報告	長谷川正雄
閉会挨拶	神保伊和雄
閉会点鐘　会 長	土井　宏二

２０２２ 年 ３ 月 の 記 録（＊累計は期初からの24累計）

会員出席状況				メーキャップ記録	スマイル	
						2.000 円
正 会 員	10 名	出席（メネット）	0 名	城井廣邦 2/22 第二例会	ＢＦポイント　現金累計	0 円
功労会員	1 名	出席（コメット）	0 名		切手累計	
在籍者数	11 名	出席（ゲスト）	1 名			
出席（正会員）	9 名	出席（ビジター）	1 名	1 名	リングプル　累　計	350.2 kg
出席（功労会員）	1 名	例会出席総数	12 名	3月出席率　90%	むかで基金　今月分	3.500 円

会費振込先　みずほ銀行　亀戸支店　（普通）３０１３０７１　東京むかでワイズメンズクラブ

3 月 Zoom 本 例 会 報 告

3月本例会は3月15日（火）18：00より、コロナ禍の蔓延防止措置下のため、Zoomオンラインのみにて開催されました。

神保伊和雄君の司会によりスタート。土井宏二会長の開会点鐘、ワイズソング斉唱、ゲスト・ビジター紹介が司会よりありました。

今月の聖句・感謝は今井武彦君、祈りの中でウクライナに平和の時が一刻も早く与えられることが祈られました。

続いて、卓話「インターナショナルな環境下での子育て」と題して、東京YMCA国際部統括・松本数実氏【写真】よりお話をいただきました。

以下卓話概要。

東京YMCAは1998年にインターナショナルスクール・インターナショナルキッズガーデンを東陽町に開設した。現在、スクール在籍者は180名、キッズガーデン在籍者は60名です。在校生出身国は、主にアメリカ、韓国、インド、フィリピン等です。入学事情は、親の転勤で来日、長らく日本居住している外国人の子弟。異文化の中で生きる子供たちの子育て支援を行っています。

スクールは、日本の文部省の学校設置基準に基づくものではなく、主にWASC（アメリカの学校教育協会の認定委員会）基準に基づき、英語で授業を行っています。英語がスラスラと出来なくても入学は可能です。（ちなみに、都内には95校のインターナショナルスクールがあるそうです）

学期は9月が新学期、9月1日現在で6歳以上であれば入学可能です。スクールの講師は、アメリカ、カナダ、オーストラリア、フィリピン出身の方々です。

【東陽町にあるインターナショナルスクールの様子】

日本の中高生の年頃になると、出身国と日本との異文化適応、アイデンティティーに悩むようになり、相談が増えるそうです。

日本の私立の中学・高校へ進学する生徒がいる。また、出身国に帰国したりする。そして、バイリンガルとして生きるようにサポートしたりもする。

質疑応答として、東京YMCAの授業料はいくらか？質問に対し、授業料は年間約160万円、これでも安い方。高い授業料の学校は300万円、平均的授業料は200万円位。一同びっくり。国・自治体からの支援がなく、すべて自前調達となるためだそうです。【写真下＝例会のZoom画面】

髙津達夫会計より、ウクライナへの東日本区支援金募金参加の提案あり、了解した。

山梨雄一担当主事より、3月末でYMCAの人事異動でむかで担当主事辞任し、後任は以前担当主事だった由井卓哉さんが復帰する旨発表あり。山梨さんは社会体育専門学校の校長に就任。　（今井 記）

出席者：土井、伊丹、今井、櫻井、神保、髙津、長谷川、福島、山梨

ゲ ス ト：松本数実（東京YMCA国際部統括、東京クラブ）

ビジター：大野勉（神戸ポートクラブ）　（敬称略）

2022-2023年度会長研修会に参加して

次期会長研修会は、3月5日（土）10：00～16：00まで、コロナ禍の蔓延防止措置下のため、Web会議システムZoomにて開催されました。

以下にてポイントを報告いたします。

1. 東日本区の現状について大久保知宏理事より
   ① 会員数：2021/7/1 現在 800 名・59 クラブ、2022/1/1 現在 794 名・58 クラブです。
   この間、会員増強クラブ 11 クラブ、会員減少クラブ 12 クラブ（当クラブも含まれる）。会員増強は必須のこと。
   ② 国際支援募金の実施。特に、ロシア侵攻下にあるウクライナへの募金要請。
2. 日本 YMCA 中期計画（2021-2023）について光永尚生同盟担当主事より、社会の回復に仕える YMCA の回復を目指すメッセージがあった。
3. 東日本区次期理事方針について佐藤重良次期理事（甲府21）より基本方針発表があった。
   主　　題：「未来に向けて今すぐ行動しよう」
   スローガン：「誰かのために奉仕して、自分のための楽

しいクラブライフを！」

最後に、分科会があった。参加者全員が、3つの分科会に参加して意見交換をした。テーマは、

① 待ったなし。会員増強をどう進めるか？

② YMCA とともに地域に根ざす

③ コロナを超えてやめられない楽しいクラブづくり

Zoomでの研修会でしたが、良き学びの時を与えられ感謝でした。（今井　記）

会　長　通　信

3月に入り暖かさも増すかと思いきや、依然として寒い日が続き、独居老人の私はスポーツジムと銭湯とたまに行く居酒屋程度、静かに暮らしています。3回目の接種は済みましたが、コロナ禍も高止まりで落ち着きを見せていますが、まだまだ安心はできません。

ロシアのウクライナへの非人道的な侵略戦争、本当に怖い世の中です。1944年生まれなので、自分自身戦争の怖さは知りませんが、20代で目の当たりにみたショッキングな事を思い出しました。

①マニラのモンテンルパ刑務所。私が訪れた当時フィリピンは貧しく、観光資源として刑務所を解放していました。戦後、山下将軍をはじめ、たくさんの日本兵が処刑されました。観光客が興味半分で囚人を冷かしているそばで、高齢の日本人のおばあさんが、地面に線香と煙草を供え、泣きながら合掌していました。多分苦労してお金をため、やっと亡くなった旦那さんに会いにきたと思います。そのそばで戦争を知らない若者が、派手な格好で昨晩は最高だったと大きな声で話していました。同じ日本人として恥ずかしく思いました。

②ハワイ・パールハーバー記念館。当時は今と違って、日本軍に撃沈された戦艦ミズリーが海底にあり、1944年に改めて建造され、記念館になっているミズリーはありませんでした。漏れ出している重油が、戦没者の黒い涙と説明されました。そこで派手なアロハとビーチサンダル、サングラスの新婚夫婦が高揚したのか抱き合っていました。そばのアメリカ人が眉をひそめていました。アメリカ人にとっては神聖な場所だと思います。

観光旅行が自由化になって間もないころ、1ドル360円、海外持ち出し500ドルまでの時代。フィリピンは青年の船、ハワイは叔父が建立された東本願寺の式典出席のため行かせてもらい、貴重な経験をしました。

考えてみると今までに訪れた国は多分30か国以上。渡航回数は100回以上、色々経験させてもらいました。最近の戒め「言いたいことは明日言え」（土井　記）

＜４月の予定 ＞

5日（火）東京むかで・ブリテン印刷会（16:00～）
12日（火）東京・4月本例会
14日（木）東京センテニアル・4月本例会
15日（金）東京世田谷・4月本例会
16日（土）第5回ワイズ・ナイトフォーラム（20:00～Zoom）
19日（火）東京むかで・4月本例会 18:00～
20日（水）東京町田スマイリング・東京多摩みなみ・東京町田コスモス・4月合同本例会
23日（土）東新部評議会・次期役員研修会（13:30～）
26日（火）東京むかで・第二例会 18:00～

＜５月以降の予定 ＞

2日（月）東京むかで・ブリテン印刷会（16:00～）
17日（火）東京むかで・5月本例会 18:00～
24日（火）東京むかで・第二例会（18:00～）

３ 月 第 二 例 会 報 告

3月22日（火）18:00よりZoomでの第二例会となりました。当日は、真冬並みの超低温気温。しかも、経済産業省の発出による「電力逼迫警報」の中での例会となりました。

協議事項は以下の通りでした。　【写真＝Zoom画面】

1. 4月ブリテン発行の件。取りまとめ今井
2. 4月本例会については、東陽町センター・YMCAホールで食事付対面式例会とすること。ハイブリッドで行う。卓話者はYMCA副総主事・星野太郎氏。卓話はYMCAの年度方針について。
3. 4月23日（土）Zoomで東新部評議会・次期役員研修会。出席者確認をした。
4. むかでクラブ60周年記念誌のメンバーコメント掲載記事の作成協力依頼（伊丹さん）
「2021 年末？2022 年 3 月末？！2022 年 6 月のワイズ年度末に発行！？！
丸 1 年遅れの発行に向けて、「むかで」みたいに 100 本足で揃わない足並みを合わせて、発行への歩みを進めています。」（ジンボ　追記）
5. 髙津さんの今期末クラブ「休会予定」に対し、出席者より

慰留するも、ご本人意思固く変わらず。ただし、次期下田会議資料作成を担当してくださる旨の表明がありました。

6. 担当主事の4月交代。現担当山梨さんは社会体育専門学校の校長に栄転。後任は、以前担当主事だった由井卓哉さんが返り咲く。（今井 記）

出席者：伊丹、今井、櫻井、髙津、長谷川、山梨

下　田　だ　よ　り　（15）

先月の3月16日（水）、富士山部・下田クラブのZoom例会にメネットと共に参加しました。下田クラブは昨年チャーター会員の池谷淳君が死去され、現在6名で頑張っているクラブで、むかでの本例会の翌日、第3水曜日が本例会なので参加させていただきました。

コロナウィルス蔓延防止措置の延長により、予定されていた卓話は4月に延期され、この日は会員間の情報交換に変更、早速に「思い出のランドセルギフト」の活動についてメネットから詳しく説明させていただき、全員がとても素晴らしい活動であると、是非積極的に協力していきたいとの様々な意見をいただきました。

彼女が下田出身であることを伝えると、副会長の土屋恒夫君の成子メネットと小学校中学校の同級生であると判明し、和やかな雰囲気になりました。成子メネットは、伊豆でも有名な箏曲の師匠・吉田秀染とし活躍されている方で、下田クラブはCS事業として彼女が開催する『子供箏曲体験教室』をサポートしています。今年も3月21日に開催され、早速我が夫婦も参加し、生まれて初めて箏の爪をつけ約1時間、楽譜と糸との睨めっこに悪戦苦闘、ご指導の甲斐あり大変に楽しく貴重な体験となりました。

最後に成子メネットが指導する下田高校箏曲部の6名の生徒による模範演奏に大感激しました。下田クラブ、頑張っています！（櫻井 記）

東京ＹＭＣＡニュース

▼全国のYMCAは、4月30日を期限に「ウクライナ緊急支援募金」を開始した。寄せられた募金は日本YMCA同盟を通して世界YMCA同盟に送られ、ウクライナYMCAが行う避難民への宿泊場所や食料品等の提供と子どもたちのケア、近隣諸国のYMCAが協力して行う国外避難民への緊急生活支援のために用いられる。

なお、東京YMCAとウクライナYMCAは、20年にわたり子どもたちによるクリスマスメッセージ交換等の交流を続けています。

▼東日本大震災11周年にあたり、仙台YMCAと石巻広域ワイズメンズクラブとの共催により、「3.11追悼と感謝の会・記念礼拝」が開催された。礼拝はオンラインで開催され、東京YMCAから会員・職員合わせて12名が出席した。

また、会員部を中心に都内のいくつかの拠点で、「東日本大震災11周年物産展」が実施された。

▼キャンプ等で積極的に活動している青年たちを、YMCAのユースボランティアとして認証する制度「日本YMCAユースボランティア認証」として、全国から16歳～35歳のユースボランティア318人が認証された。

東京YMCAからも24人が認証され、認証カード、ボランティア手帳等が贈られた。（山梨 記）

3月会計報告 ・ リングプル報告

1 月間収入・支出合計　　期間 3/1～3/31

口座名	月間収入額	月間支出額
経常部	0円	1,680円
活動基金部	3,500円	19,132円

経常支出：通信切手

活動基金収入：Zoom スマイル、CS 献金

活動基金支出：区ウクライナ支援、スピーカー謝礼、キャンプ中止通信費　（髙津 記）

2 リングプル 3月預かり分

3月25日、齋藤昭七さん group からの預け入れ25.0kg

いよいよ春、4月・新入生・新主事・新会員、そして、
新規預かり分は4月から！？！
小さな1ッ歩、小さな1ッ個。わずか1g
これが車いすにつながる

皆様よろしくお願いいたします。（神保 記）

編　集　後　記

紅梅・白梅が咲き、次に、こぶしが真っ白な花をつけ、そして、桜の開花。

これが今までの千葉の春の里山の開花の順番。しかし、今年は、なぜか？　ほぼ、一斉に開花となった。

そして、4月から「物価」も一斉に上がり始めた。これも元をただせば、ロシアのウクライナ侵攻の結果？

連日報道される、ウクライナへのロシアの蹂躙は許せないとテレビを見ていると思う。

そして、ウクライナへの支援を続けて行こうと思う。例え、貧者の一灯でも・・・。

今は、コロナ禍も主役から脇役に転じたのか？と思いきや、コロナの粘り腰は続いています。ご注意を！

（今井 記）